



カラマツ被害が散見される。結実確保を優先した摘果を！

4月は気温が平年より3℃高く推移し「ふじ」の落花日は平年より10日程早く迎えました。現在摘果作業に入っていますが、一部園地ではカラマツが散見られ、結実は品種によってバラつきが見られます。結実量が少ない園地では、結実確保を優先した摘果を行っていきましょう。

また、管内の黒星病感染はまだ見られていませんが、今後も引き続き散布量や散布間隔を守り、丁寧な散布を心掛けましょう。

1. りんごの生態 → ふじの落花日は平年に比べ10日程早く推移しました。

品種	管内			開花日			満開日			落花日			備考
	和徳	藤崎	平年	和徳	藤崎	平年	和徳	藤崎	平年	和徳	藤崎	平年	
つがる	4/27	4/28	5/8	5/1	5/2	5/13	5/6	5/7	5/17	和徳管内：津賀野地区 藤崎管内：五林地区 を観測しています。 ※ ()内は予想値 ※ 平年は当組合の平年値			
ジョナ	4/26	4/27	5/7	4/29	4/30	5/12	5/5	5/6	5/16				
王林	4/24	4/25	5/6	4/28	4/29	5/11	5/4	5/5	5/15				
ふじ	4/27	4/28	5/9	5/2	5/3	5/13	5/6	5/7	5/18				

2. 薬剤散布 → 落花20日後までは10日間隔で！降雨が予想される場合は特別散布も！

落花20日後散布までは黒星病の重点防除時期となっています。4回目から5回目の間でまとまった降雨が予想される場合は、特別散布も行いましょう。

散布量	散布時期	対象病虫害	基準薬剤及び調合順序	1000ℓ当りの薬量
4 落花10日後 420L/10a	5/20頃	黒星病・黒点病・うどんこ病 すす点・すす斑病 クワコナカイガラムシ	ユニックス（顆粒） 2,000倍 ジマンダイセン（水） 600倍 クレフノン（水） 100倍	1袋（500g） 1袋（1.67kg） 1袋（10kg）
特別散布	降雨が予想される場合		チオノック（F） 500倍	1本（2ℓ）
5 落花20日後 420L/10a	5/30頃	黒星病・炭そ病 すす点・すす斑病・うどんこ病 クワコナカイガラムシ モモシクイガ	デラン（F） 1,500倍 エルサン（水） 1,000倍 クレフノン（水） 100倍	2本（666ml） 1袋（1kg） 1袋（10kg）
6 落花30日後 500L/10a	6/9頃	黒星病・炭そ病 すす点・すす斑病 モモシクイガ	パスポート（顆水） 1,000倍 サイアノックス（水） 1,000倍 クレフノン（水） 100倍	2袋（1kg） 2袋（1kg） 1袋（10kg）
7 落花40日後 500L/10a	6/19頃	黒星病・炭そ病 すす点・すす斑病 モモシクイガ	ラビライト（水） 500倍 モスピラン（顆水） 4,000倍 ダニオーテ（F） 2,000倍 カルマッチ 770倍	2袋（2kg） 1袋（250g） 2本（500ml） 1袋（1.3kg）

3. 摘果作業 → 果実の良し悪しが判別できる頃から、仕上げ摘果へ切り替えよう！

結実や果形の善し悪しがまだ判断しにくい「落花10～15日後頃」までは一つ成り摘果を行い、それ以降判別がついてくる頃から仕上げ摘果へ切り替えていきましょう。特に生育期間の短い「つがる」や、成らせ過ぎになりがちな「黄色品種」については、『早く強い』摘果を心がけましょう。（特に「王林」は、早い摘果を行わないと肥大が劣ります！）

◆摘果作業のスケジュール

5月	6月	7月	8月
つがる・王林 1つ成り摘果	その他品種 徐々に仕上げ摘果 に切り替わる	見直し摘果 (早→中→晩)	

↑
花芽分化始

< 中央地区営農係 >

- 藤崎支店 佐藤 琉乃介 (090-7529-5883)
鳴海 清志郎 (080-9335-0829)
清野 直人 (090-6220-9285)
- 和徳支店 松岡 巧子 (080-6045-9817)
泉 荘 (080-6011-5366)

営農関係でのご質問・相談等がございましたら、担当者へ連絡下さい！